

御牧の郷だより

第11号

発行 御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部会 発行年月日 平成29年9月

今年の夏も燃えました！北御牧の夏祭り！



今年もみまきニュードカンコが8月14日に開催されました。時おり雨も降りましたが、たくさんの区民のみなさんが参加しました。元気いっぱいのこども神輿、御牧太鼓、大花火大会など、夜遅くまで盛り上がりました。

今年40回目を迎える北部の夏祭りが8月15日北部公民館で行われました。恒例の焼き肉、手打ちそば屋などが出てにぎやかでした。区民有志によるバンドの演奏もあり一層盛り上がりました。



地域の有志が発起し、下八区、小学校PTA、消防団の協力で下八重原夏祭りが、十数年ぶりに復活し8月15日に開催されました。資金調達、準備など、ほぼゼロからのスタートでしたが、焼き鳥、飲み物などすべて完売の大盛況となりました。来年度も継続することで地域の絆を紡いでいきたいです。



中八重原地区子どもフェスティバル



もくじ



復活！下八重原夏祭り

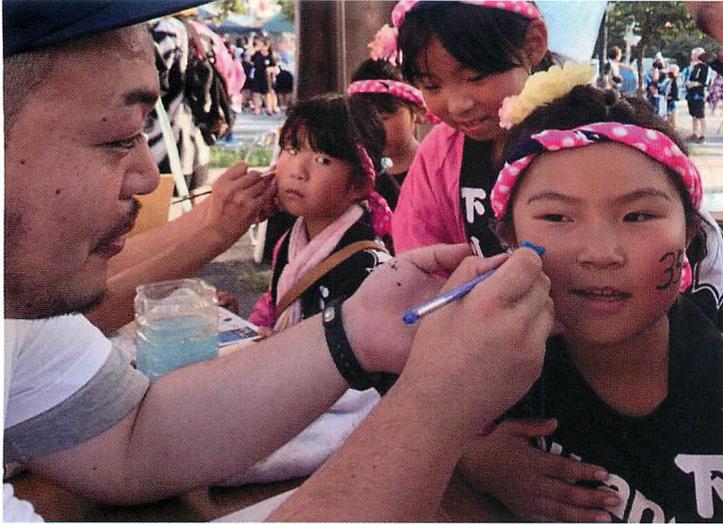
表紙 今年の夏も燃えました！北御牧の夏祭り！

P.2~3 「天スポ0円」 仰天情報満載！ ~天空の芸術祭だより

P.4 チーム10000の瞳の活動から

めざそう！人口5000人をキープ！

10年後も
いちまん
ひとみ
10000の瞳



雷電祭り フェイス ペイント

先月行われた雷電祭りで、天空有志がフェイスペイントを子どもたちに施した。お祭りの雰囲気にあわせて、お相撲さんや、風船、スイカなど夏の風物詩を描きたかったが、テレビで人気のお笑い芸人ブルゾンちえみさんのネタ「35億」が一番人気だった。(村上)



内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局のプログラム「Beyond 2020プログラム」に認定されました。20年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことが求められており、こうしたレガシー創出に資する文化プログラムを「Beyond 2020プログラム」として認定し、日本全国に展開するプログラム。(村上)



よみがえる アケボノゾウ

毎年恒例のみまきつこと名立の子どもたちとの夏のキャンプで、よみがえるアケボノゾウワークショップに参加。述べ100人が各々、ゾウをつくったり想像の色を考えたたり、どんな声で鳴いていたのか鳴き声を録音したり楽しんだ。これらの成果は東御市北御牧庁舎1階にインスタレーションとして展示。子どもたちの想像のアケボノゾウがよみがえる!!(村上)

天空の芸術祭 シンポジウム 開催決定!!!

10月22(日) 時間未定 場所 憩いの家(予定) 参加作家のひとり一ノ瀬健太さん企画のシンポジウム開催が決定!!! 一ノ瀬さんは平成28年度全国芸術系大学コンソーシウム・文化芸術アソシエイツを修了。東京芸術大学博士課程在籍。 「アーティストから見た東御。東御から見たア

「地域+芸術をデザインする」 プロジェクトミルキー班です!!!



東京藝術大学と東京工業大学の「地域+芸術をデザインする」ミルキー班が9月初旬、北御牧でリサーチを開始。「きたままきおもいでマップ」(仮)と題し、地域の方の思い出を収集。芸術祭ではマップを制作して、各々の思い出と場所がわかる立体ジオラマを展示予定。「うちの畑が誰かさんの初キッスの場所だった」という感じで和気あいあい交流の場になれば」というコンセプトだそう。(村上)

ト」(仮)と題し、芸術祭参加アーティストや地元の方をお招きして、今後の東御や芸術祭についてシンポジウムを開催。入場無料。(村上)



103記憶の展覧会
申込み受付中

・思い出の品、記憶に残る品を、皆さんの思い出と共に展示します。・有名な作家の作品でなくても、思い出、記憶に残っている作品ならば自作、他作問わずに出展可能です。・ジャンルは問いません。絵、彫刻、書道、写真、工芸、手芸、他にも思い出に残っているものであれば、広く展示可能です。・作品名、作者、思い出などコメントと共に展示します。詳細は北御牧庁舎内、芸術祭事務局にあるチラシをごらんください。(村上)

撮激

天
空
ホ
ウ

仰
天
情
報
満
載

天空の芸術祭実行委員会 事務局 〒389-0404 長野県東御市大日向337
東御市北御牧庁舎内 電話：0268-67-3311 (代表) FAX：0268-67-3337
E-mail：tenkuartfes@gmail.com Web：https://www.tenkuartfes2017.com/

ワインフェスに

繭娘

去る9月2日、東御ワインクラブが主催するワインイベント『東御ワインフェスタ2017』が、JA信州うえだ東御支所ラ・ヴェリテ特設会場にて開催された。会場には多くのワイン愛好家が集い、東御市産のワインやジャズバンドによる演奏などをゆったりと堪能していた。そこへ突如として現れたのが、何やらあやしい物体を背負い栗毛色の頭髪に青緑色の瞳を持つ端正な容姿の小柄な西洋人女性だ。会場に居合わせた人々

は、彼女の美貌以上にその華奢な肩からぶらさがる謎の異物に目が釘付けとなった。彼女は多くの視線を尻目に微かな笑みを浮かべつつ、会場奥のジャズバンドが演奏するステージの前まで進み、踵を返した途端ジブシー仕込みのステップで軽やかに踊り始めた。その瞬間から会場にいるすべての人間は強制的に彼女のオーディエンスとなった。やがてダンスが終わると手を打たない者は誰一人としていないばかりか、あまりの美

しさにワイングラスを口元に運ぶのを忘れてしまっていたことにやっと気が付く者が続出し、彼女が過ぎ去った後には喪失感が蔓延し「もうワインが喉を通らない！」と嘆く者までいた。彼女は何者なのか、彼女が携えていたあのあやしい物体は一体何なのか。我々はその謎を解く鍵はどうやら今秋北御牧地区にて開催される「天空の芸術祭」にあるらしいとの極秘情報を掴んでいるが、その正体についてはまだ不明なままである。(有賀)

有賀協力隊髪。ピンク

そこまでしなくても……。噂によると地域おこし協力隊の有賀慎吾さん(34歳)が、天空の芸術祭のテーマカラーのピンク色に染まった、らしいという情報が



天空スポーツ
平成29年9月16日発行
https://www.tenkuartfes2017.com/



チーム10000の瞳(北御牧地域ビジョン推進委員会)の活動から



「ビジョンって何ですか？」説明会開催



御牧の郷だよりでは9号から毎号ビジョンに関する記事をお届けしてきました。

ビジョンについて理解を深めてもらう一助になればといろいろな地区の取り組みを紹介してきました。でも、よくわからない、何をしたらいいの？というお声もいただいています。

そこで、ビジョン実現のための推進委員会「チーム10000の瞳」では、北御牧の将来を考えるきっかけになるように、各地区に出向いて説明会を開催しています。北部区、下八重原区を皮切りに、8月18日

は島川原区へおじゃましました。役員会の時間を少しいただき、区民のみなさまからもご意見をいただきました。このような説明会を他の地区でも開催していこうと考えています。うちに来て！という地区、あるいはサークルやご近所の集まりがありましたら、ぜひ、ご連絡ください。

電話 0268-67-3311 北御牧庁舎 地域支援員 青木まで

300人に聞きました！

今年6月に「チーム10000の瞳」が結成されました。

みんなで一緒に考えて、参加して、実現して「10年後も人口5000人をキープ」を目標とする北御牧地域ビジョンを推進するチームです。

みまきニュードカンコ祭りでは、子どもを中心に”大きくなっても北御牧に暮らしたい？暮らしたくない？”というアンケート調査をしました。

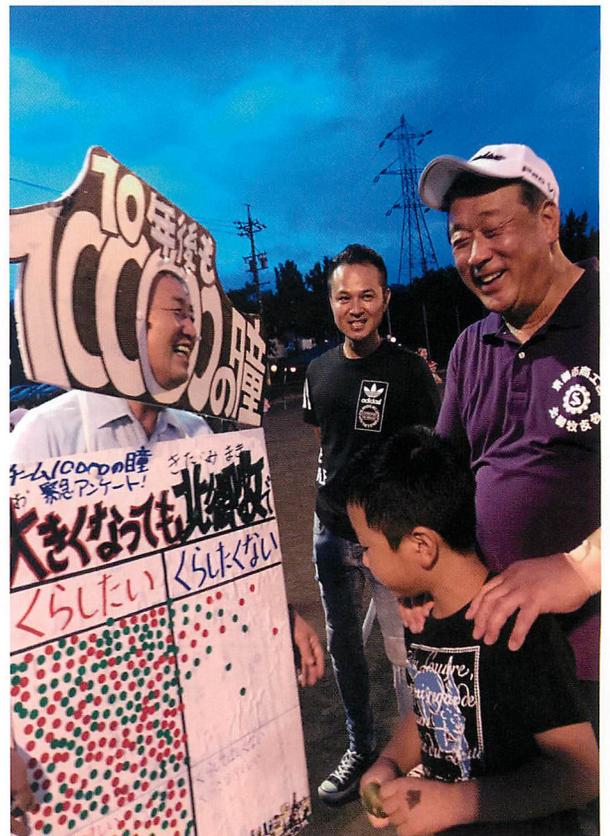
約300人に参加してもらった結果、9割以上が”暮らしたい”と答えました。理由は、自然がいい、野菜がおいしい、人がいいでした。その反面、”暮らしたくない”と答えた人は、交通の便が悪い、店が少ないなどでした。

今回のアンケート調査の成果は、参加者自身が北御牧の将来について改めて考えるきっかけになったことです。

今後も私たちの活動にご参加、ご協力をお願いいたします。
チーム10000の瞳
隊長 笹平 達也



北御牧データバンク(9月1日現在)
総人口 4913人(+2)
男 2488人(+1)
女 2425人(+1)
推定出産数 2人
()内は6月30日との増減



編集後記:9月30日から天空の芸術祭が開催されます！天高く芸術に触れる秋！農作業の手を止めてしばし、アートに触れてみませんか？11号は天空の芸術祭を特集しました。そして、ビジョンも少しずつ動き出しています。暮らし続けたい北御牧を目指してみんなで考えていきましょう！(T. M)